

2022年8月17日作成

Ver.3.0

## 高齢者胃癌における低侵襲手術の有用性の検討

### 1、研究の目的と意義

現在の本邦の状況から、高齢化が進み胃癌の診療は今後更に高齢者が中心となることが予想されます。胃切除は術後障害やQOLの低下を引き起こすことが考えられ、特に高齢者は一般的に併存疾患や臓器機能低下を多く認めます。術後合併症は、高齢者の予後や術後のQOLに大きく関与しています。手術侵襲を考慮した治療選択が必要であると考えられます。

今日、さまざまな外科領域において、開腹手術から内視鏡(腹腔鏡/ロボット支援)を応用した低侵襲手術へと変換されつつあります。内視鏡下による低侵襲手術の利点は、より早い術後の回復および経口摂取、より短い入院期間、術後疼痛の軽減、美容上の美しさ、そして医療費用の削減などの長所があげられます。しかし、多くの臨床試験は80歳未満を対象としており、高齢者に対する低侵襲手術の有用性は、明らかではありません。本研究は、高齢者胃癌における低侵襲手術の合併症発生に関連する因子を明らかにすることにより、患者さんに最適な治療を提供できるようになります。

### 2、対象となる患者さん

2007年1月1日～2022年12月31日の期間で、長崎大学病院腫瘍外科にて胃癌と診断され胃切除を受けた80歳以上の患者さんが対象となります。

### 3、研究の方法

対象となっている症例の情報を診療録(カルテ)から収集し、術後合併症の有無、在院日数などの治療成績を明らかにします。

### 4、研究に用いる情報

診断名、年齢、性別、併存疾患、既往歴、検査結果(血液検査、画像検査、病理結果)、手術関連情報、進行度など

本研究に用いる情報について詳しい内容をお知りになりたい方は『8.問い合わせ先』へ連絡してください。

### 5、研究期間

研究機関長の許可日～2028年12月31日

### 6、外部への情報の提供

該当なし

### 7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 腫瘍外科 荒井淳一

## 8.お問い合わせ先

長崎大学病院 腫瘍外科 荒井淳一

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）